

News

より多くの元素を、これまで以上に速く、鮮明に 最新の蛍光X線分析装置が導入されました

県南技研だより第250号(2026年1月)でお知らせしましたとおり、微小部蛍光X線分析装置を1月30日に導入、2月2日から稼働しております。

今回の機器整備は公益財団法人JKAと一関市の補助金を活用して実現したものです。

新たに導入したのは、BRUKER社の「M4 TORNADO PLUS」です。これまでの装置では見えにくかった成分や微細な違いもしっかり「見える化」できるようになりました。

これまでの装置と比べて特に優れている点は次の4つです。

- ① 軽い元素(炭素や酸素など)の検出が可能になりました。
- ② 新しい検出器の組み合わせにより、従来より短い時間での分析が可能となりました。
- ③ これまでより鮮明かつ精密な成分マップが作れます。
- ④ ピントの合う距離が長くなり、凹凸のある試料の測定が可能になりました。



新導入 微小部蛍光X線分析装置(XRF)

Topics

新導入 微小部蛍光X線分析装置習得講座を実施しました

新しい微小部蛍光X線分析装置の導入に合わせて、新機能の解説を含めた操作を学ぶ講座を2月20日に開催し2名が受講しました。受講した企業担当者からは「実際に装置の説明を受けて、日常業務での活用イメージがすぐに湧いた。微小部の分析が非破壊で迅速にできるので、品質管理や材料評価の効率が格段に上がりそう」、「自社サンプルを用いた実測が出来た」との声が聞かれました。



講座の様子

Topics

出張分析相談を実施しました

県南技研だより第246号(2025年9月)でお知らせしておりました「出張分析相談・講座」を2月17日に実施しました。今回伺ったのはSWS東日本株式会社様(一関市東台)です。2人の技師が赴き、FT-IRおよびSEM-EDXのデータ解析に関してのレクチャーを行いました。「実際のデータを使用した説明があったので理解しやすかった」、「報告書などを作成する際に役立つ内容で、普段の疑問点が解決できた」、「それぞれの機器について理解を深めることができた」と参加者からは好評でした。

この出張分析相談・講座は、今年度から新たに始めた取り組みです。最大の特徴は、企業様から寄せられた相談に合わせて内容を柔軟にカスタマイズできることです。現場の課題解決に向けた相談だけでなく、スキルアップのための講座としてなど幅広いニーズに対応できます。

この取り組みは次年度以降も継続して実施してまいります。利用を希望される場合は、お気軽に当センターまでお問い合わせください。



出張分析相談の様子

3月は
第3水曜日が・・・
イブニングの日

3月18日の開催です。皆様お誘い合わせのうえ、ご参加頂きますようお願いいたします。

★第269回産学官イブニング研究交流会へのご案内

場所:ホテル松の薫一関

日時:令和8年3月18日(水)

講演の部 18:00~18:30 無料

交流会 18:30~20:00 5,000円



I N P I T 岩手県知財総合支援窓口で行う外部相談窓口が当センターで開設されます。

特許、実用新案、意匠、商標、著作権、ノウハウ、技術契約、知財調査など、知的財産に関する活用方法や悩み事について、弁理士と直接相談することができます。

今回の担当弁理士はSANSUI国際特許事務所の村雨様です。相談は無料。事前予約制となっています。問い合わせは、岩手県知財相談総合支援窓口（電話：019-656-6017）までお願いします。

| | |
|----|-------------------------|
| 日時 | 令和8年3月4日(水) 13:00~16:00 |
| 会場 | 岩手県南技術研究センター |

※1人当たりの相談時間は45分程度です。

Topics

令和7年度一関補助事業 / 一関市ものづくり人材育成事業
IT講座を開催しました

令和8年1月27日(火)、28日(水)、AI時代に必要な「AIとの正しい付き合い方」、「安心して活用するための基本ルールと実践」をテーマに、IT講座を開催しました。実際に対話型AIを触りながら学べるということで、今回は企業だけでなく個人の方々からも申し込みがあり、計17名が参加しました。

参加者からは、「初めて対話型AIを使用し、こちらの質問に対する答えが早くて驚いた。どんな質問にも対応できるので、今後活用したい。」、「実際にパソコンで操作することで聞き方や効率よく聞く方法が身に付いた。」との声が聞かれました。



講座の様子

Topics

品質管理(QC)検定3級
取得支援講座を開催しました

令和8年1月16日(金)、23日(金)、30日(金)の計3回に渡り、QC検定3級取得支援講座を開催し、計8名が参加しました。

参加者からは、「品質とは何かをメモを取りながら学ぶことができた。」、「過去問を解くことで、理解している所、不十分な所を把握できた。」との声が聞かれました。



講座の様子

Column

化学(ケミストリー)の視点 ★連載版No.31

※今回の担当は、当センター研究開発部技師 手島です。

～洗浄の化学～

「しっかり洗ったはずなのに不良が出る。」製造現場では、このような事が度々発生します。見た目にはきれいでも、表面にわずかな汚れが残っていることがあります。

例えば、金属部品を脱脂洗浄した後の接着工程で、あるロットだけ接着強度が低下した事例では、加工油の微量残留が原因でした。肉眼では見えない汚れでも、品質に影響する場合があります。

汚れには油分や粉じんなどさまざまな種類があり、性質によって落ちやすさが異なります。適切な洗浄剤の選択や工程管理が重要となりますが、ここでは表面の状態に着目して表面エネルギーに触れてみます。表面状態の目安として使われるダイン(dyne)値は、mN/mまたはdyn/cmで表され、値が低いと弾きやすく、接着や塗装の密着性が低下します。反対に値が高い表面では濡れ性が良くなり、密着性などが向上します。油污れなどが表面付着している場合は、ダイン値が小さくなる傾向があり、密着不良が発生しやすくなります。この値は簡易的に専用のマーカーペンなどで調べる事が可能で、現場での分析が可能です。

